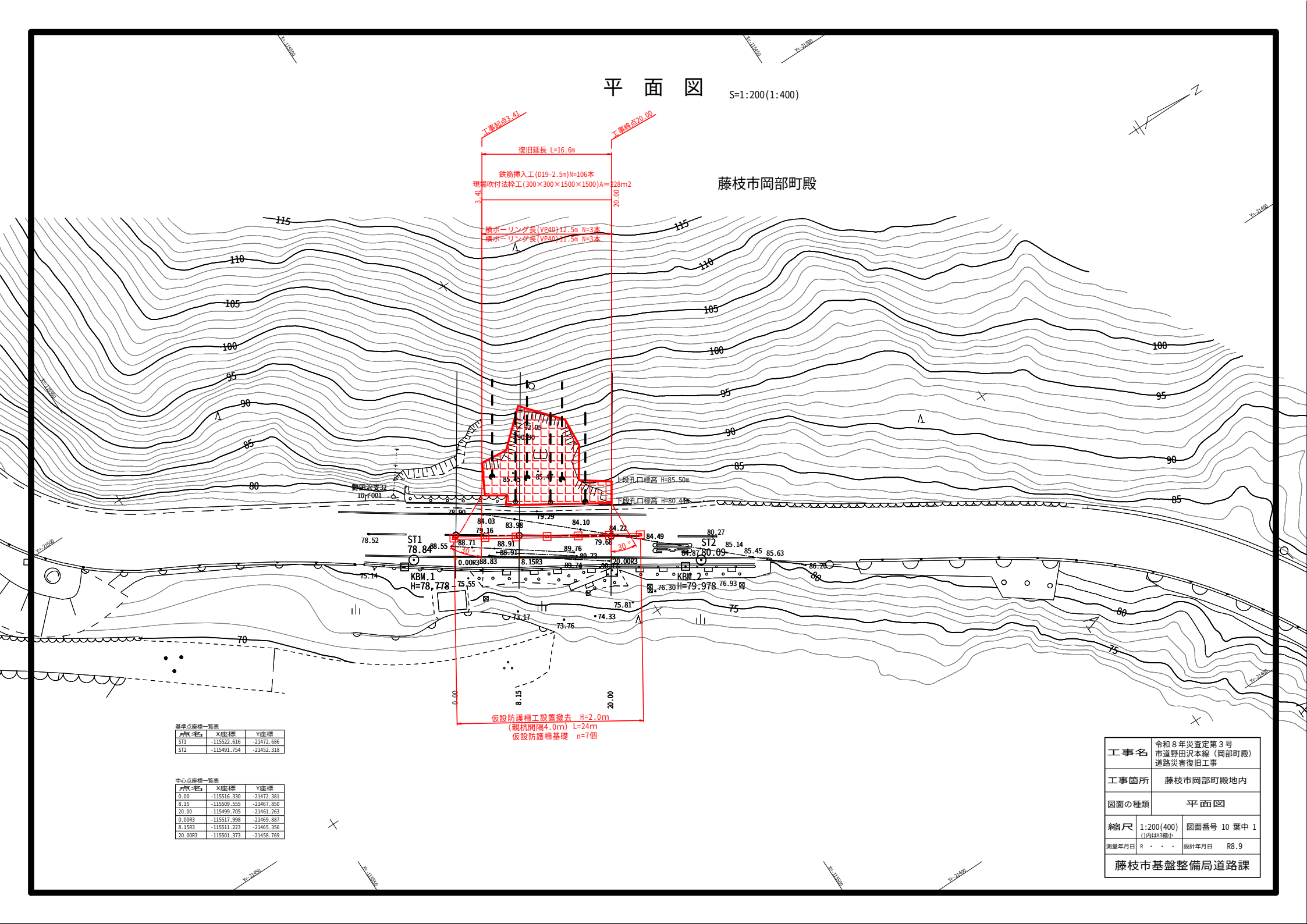


平面図

S=1:200(1:400)

藤枝市岡部町殿

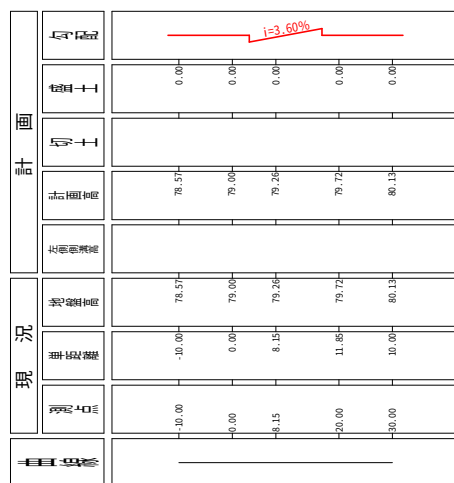


基準点座標一覧表		
点名称	X座標	Y座標
ST1	-115522.616	-21472.686
ST2	-115491.754	-21452.318

中心点座標一覧表		
点名称	X座標	Y座標
0.00	-115516.330	-21472.381
8.15	-115509.355	-21467.850
20.00	-115499.705	-21461.263
0.00R3	-115517.998	-21469.887
8.15R3	-115511.223	-21465.356
20.00R3	-115501.373	-21458.769

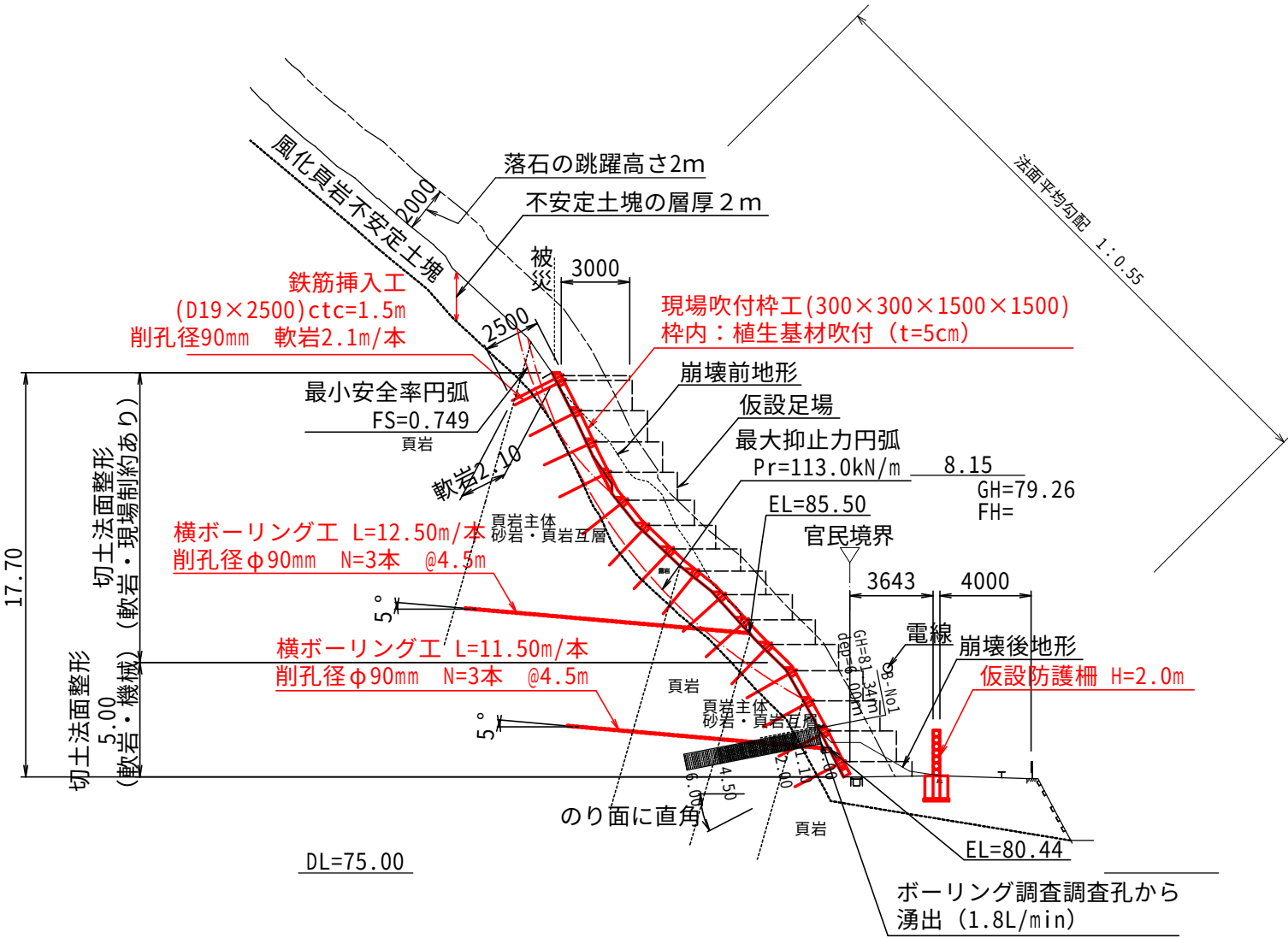
工事名	令和8年災害定第3号 市道野田沢本線(岡部町殿) 道路災害復旧工事		
工事箇所	藤枝市岡部町殿地内		
図面の種類	平面図		
縮尺	1:200(400)	図面番号	10 葉中 1
測量年月日	R . . .	設計年月日	R8.9
藤枝市基盤整備局道路課			

H=1:500 V=1:100(H=1:1000 V=1:200)



工事名	令和 8 年災害定第 3 号 市道野田沢本線 (岡部町殿) 道路災害復旧工事		
工事箇所	藤枝市岡部町殿地内		
図面の種類	縦断面図		
縮尺	Hx1: 500 (1000) V=1: 100 (200) (1/1)内はA3縮小	図面番号	10 葉中
測量年月日	R . . .	設計年月日	R8.9
藤枝市基盤整備局道路課			

標準断面図・土工定規図 S=1:100(1:200)

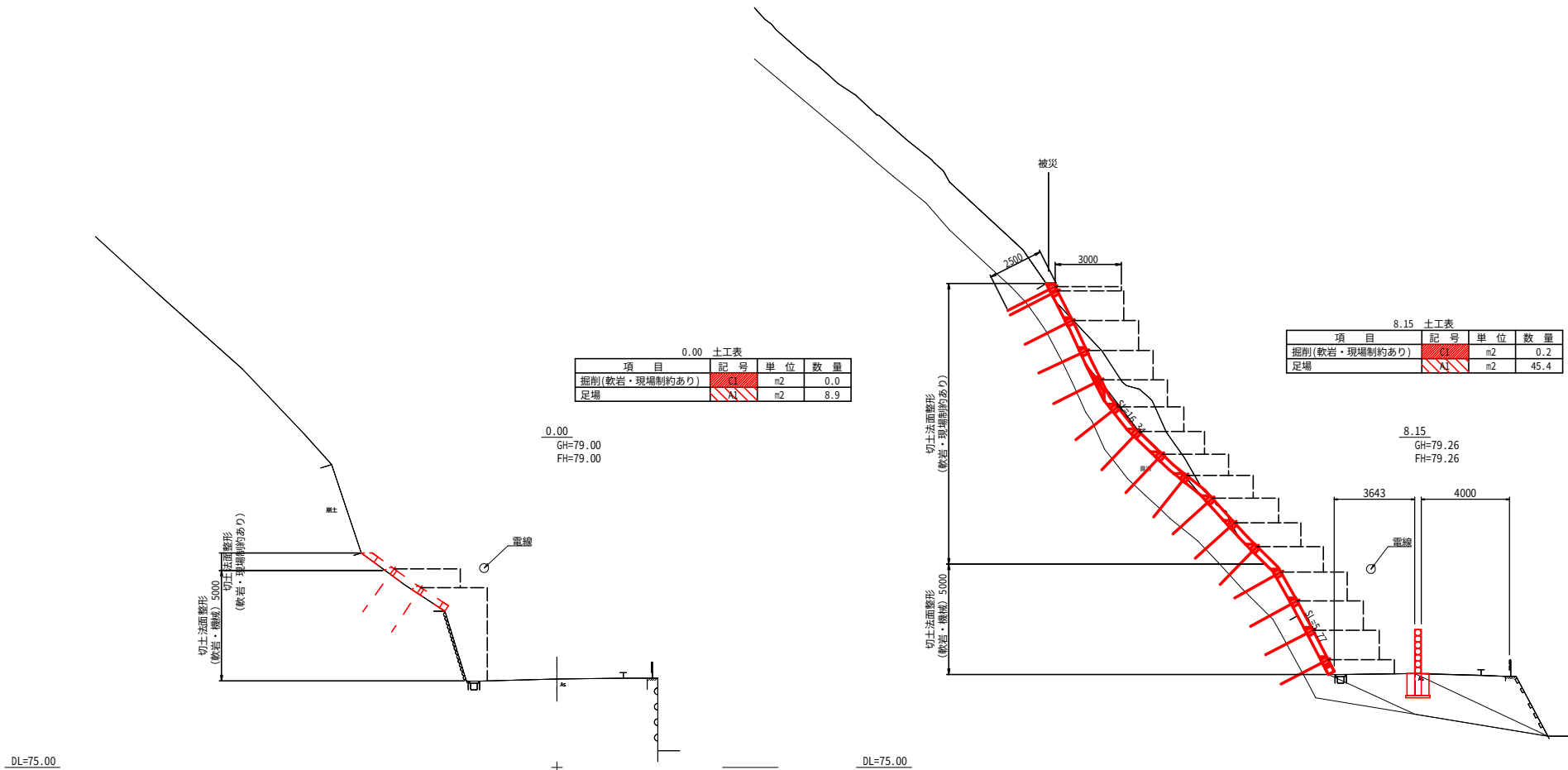


土工凡例		
項目	記号	摘要
掘削(軟岩・現場制約あり)		切土法面整形で切り崩す
足場		単管パイプ足場

工事名	令和8年災害定第3号 市道野田沢本線(岡部町殿) 道路災害復旧工事		
工事箇所	藤枝市岡部町殿地内		
図面の種類	標準断面図・土工定規図		
縮尺	1:100(200) (1)内はA3縮小	図面番号	10 葉中 3
測量年月日	R	設計年月日	R8.9
藤枝市基盤整備局道路課			

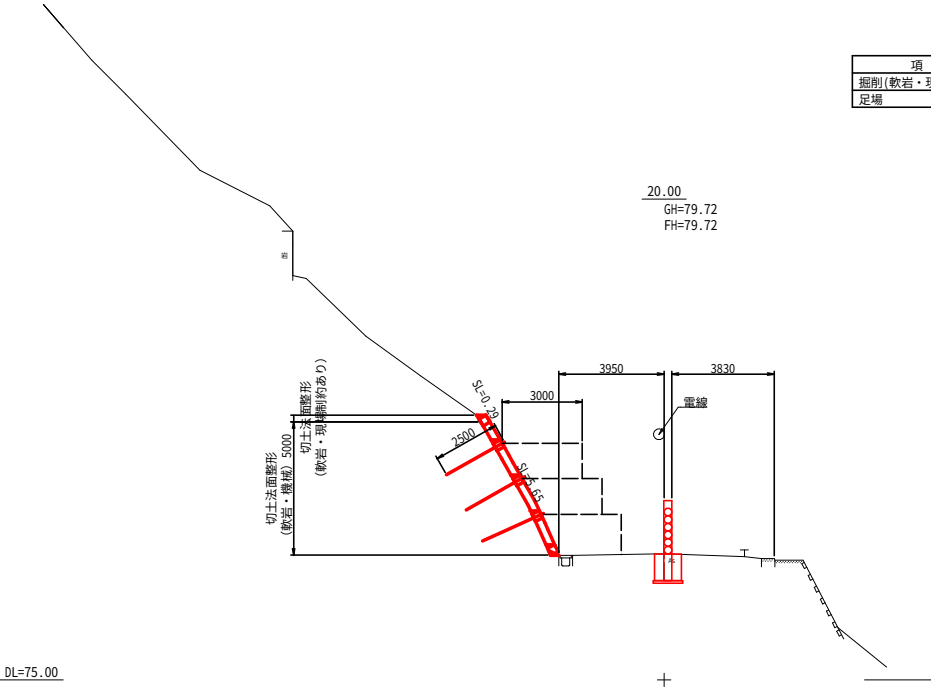
※不安定な土塊は法面整形で切り崩し、処分すること。

横断面図(1) S=1:100(1:200)



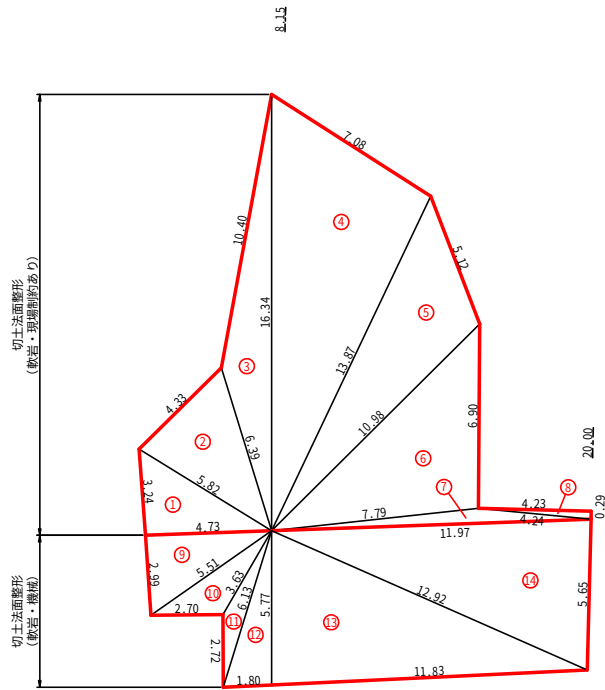
工事名		令和8年災害定第3号 市道野田沢本線(岡部町殿) 道路災害復旧工事	
工事箇所		藤枝市岡部町殿地内	
図面の種類		横断面図(1)	
縮尺	1:100(200) (1)内はA3縮小	図面番号	10 葉中 4
測量年月日	R . . .	設計年月日	R8.9
藤枝市基盤整備局道路課			

横断面図(2) S=1:100(1:200)



工事名		令和 8 年災害定第 3 号 市道野田沢本線 (岡部町段) 道路災害復旧工事	
工事箇所		藤枝市岡部町段地内	
図面の種類		横断面図 (2)	
縮尺	1:100(200) (1)内はA3縮小	図面番号	10 葉中 5
測量年月日	R	設計年月日	R8.9
藤枝市基盤整備局道路課			

法面求積展開図 S=1:100(1:200)



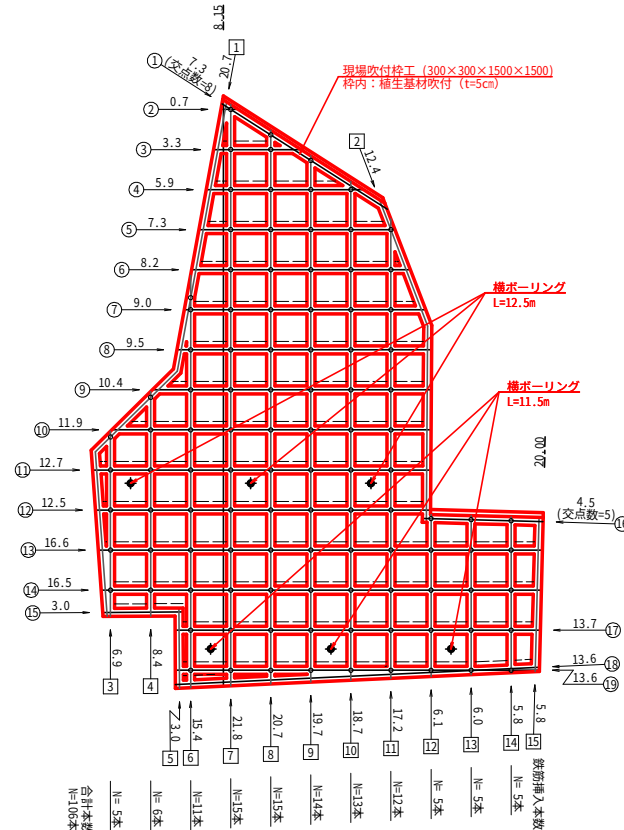
法面求積表 (軟岩・現場制約あり)

No	a	b	c	(a+b+c)/2	面積(m2)
1	3.24	4.73	5.82	6.90	7.69
2	5.82	4.33	6.39	8.27	12.25
3	6.39	10.40	16.34	16.57	15.47
4	16.34	7.08	13.87	18.65	48.81
5	13.87	5.12	10.98	14.99	25.78
6	10.98	6.90	7.79	12.84	26.77
7	7.79	11.97	4.24	12.00	3.43
8	4.24	0.29	4.23	4.38	0.61
				合計	140.81

法面求積表 (軟岩・機械)

No	a	b	c	(a+b+c)/2	面積(m2)
9	2.99	4.73	5.51	6.62	7.10
10	5.51	2.70	3.63	5.92	4.23
11	3.63	2.72	6.13	6.24	2.51
12	6.13	1.80	5.77	6.85	5.19
13	5.77	11.83	12.92	15.26	34.09
14	12.92	5.65	11.97	15.27	33.75
				合計	86.87

※面積は次式により算出
<<ヘロンの公式>>
$$A = \sqrt{S(S-a)(S-b)(S-c)}$$
$$S = \frac{a+b+c}{2}$$



現場吹付砕工数量表

種別	規格	計算式	単位	数量
縦 砕 長		$La = 188.6 \text{ m}$	m	188.6
横 砕 長		$Lb = 180.2 \text{ m}$	m	180.2
総 砕 長		$Lo = La + Lb = 188.6 + 180.2$	m	368.8
格 子 点 数		$N = 157 \text{ ヶ所}$	ヶ所	157
のり 砕 長		$L = Lo - b \times N = 368.8 - 0.300 \times 157$	m	321.7
のり面全体面積		$Ao =$	m2	227.7
水切りモルタル延長		$Lw = L - La - Lf = 321.7 - 188.6 + 3.9$	m	137.0
水切りモルタル高さ		$hw = n \times h = 0.55 \times 0.300$	m	0.165
砕 内 面 積		$A = Ao - L \times b - Lw \times hw = 227.7 - 321.7 \times 0.300 - 137.0 \times 0.165$	m2	108.6
水切りモルタル		$Vw = hw \times Lw / 2 \times Lw = 0.165 \times 0.300 / 2 \times 137.0$	m3	3.4

砕幅 $b=0.300\text{m}$ 、砕高 $h=0.300\text{m}$
のり面平均勾配 $1:n=1:0.55$
水切りモルタル調整延長 (追加延長) $Lf = \text{最上段交点数}(8+5) \times 0.30 = 3.90\text{m}$

法面数量集計表

名 称	規 格	計 算 式	単位	数 量	備 考
切土法面整形	軟岩・現場制約あり		m2	140.8	
切土法面整形	軟岩・機械		m2	86.9	
現場吹付砕工	300×300×1500×1500		m	321.7	
砕内	植生基材吹付 (t=5cm)		m2	108.6	
ラス張工		$A=140.8+86.9$	m2	227.7	
水切りモルタル			m3	3.4	

砕長集計表

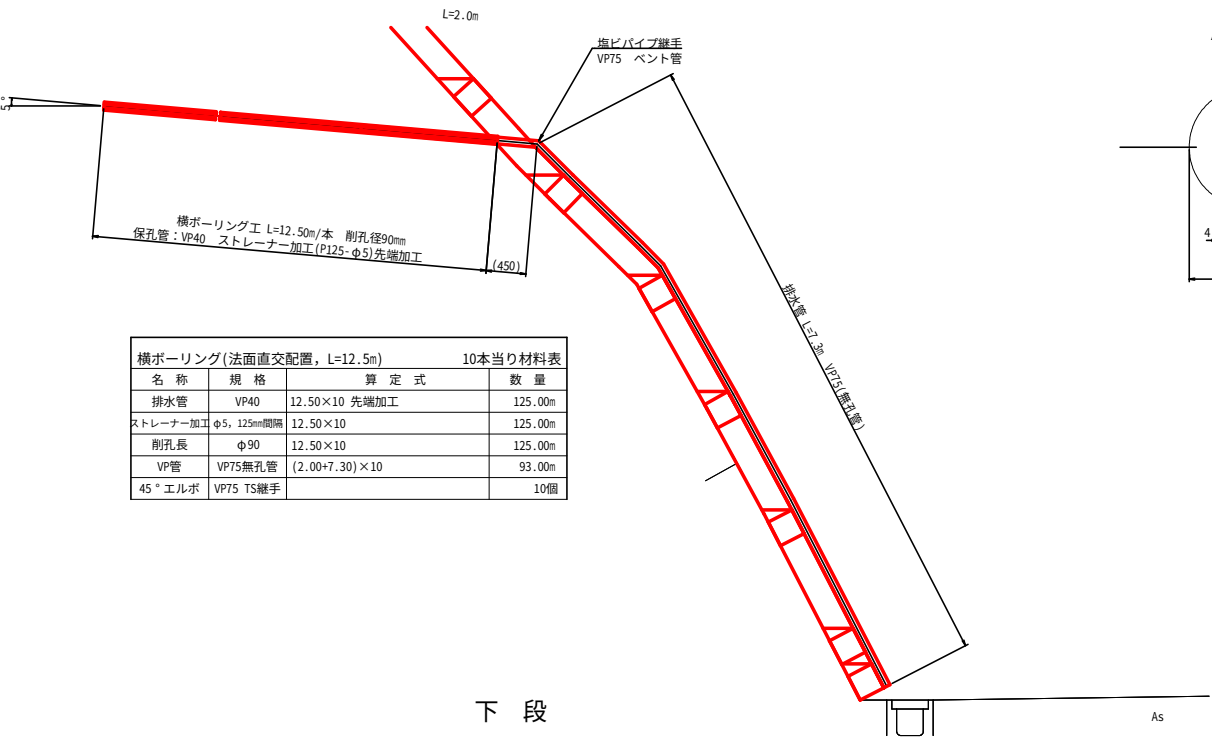
縦砕 No.	縦砕長 (m)	横砕 No.	横砕長 (m)
1	20.7	1	7.3
2	12.4	2	0.7
3	6.9	3	3.3
4	8.4	4	5.9
5	3.0	5	7.3
6	15.4	6	8.2
7	21.8	7	9.0
8	20.7	8	9.5
9	19.7	9	10.4
10	18.7	10	11.9
11	17.2	11	12.7
12	6.1	12	12.5
13	6.0	13	16.6
14	5.8	14	16.5
15	5.8	15	3.0
		16	4.5
		17	13.7
		18	13.6
		19	13.6
合 計	188.6	合 計	180.2

工事名	令和 8 年災害定第 3 号 市道野田沢本線 (岡部町殿) 道路災害復旧工事
工事箇所	藤枝市岡部町殿地内
図面の種類	法面求積展開図
縮 尺	1:100(200) (1)内はA3縮小
図面番号	10 葉中 6
測量年月日	R
設計年月日	R8.9
藤枝市基盤整備局道路課	

排水工標準構造図

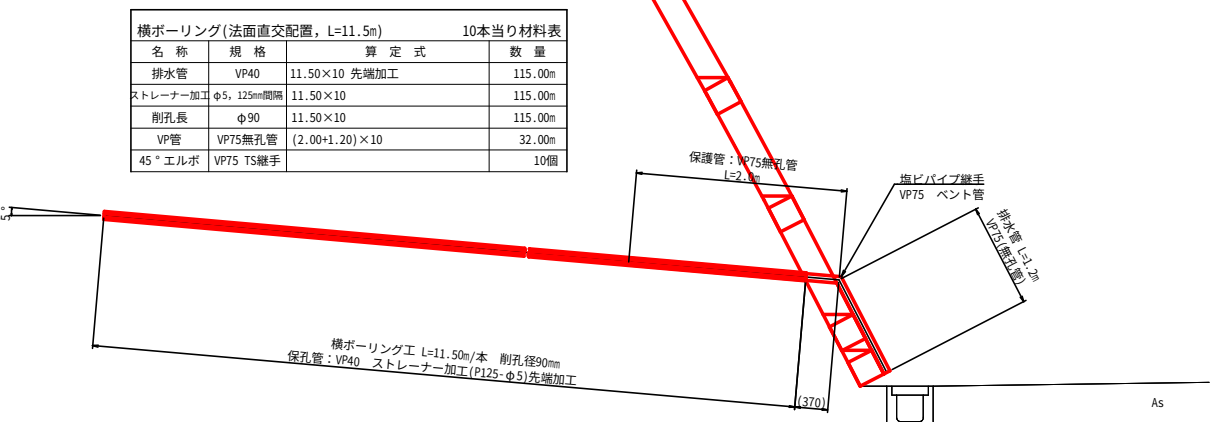
横ボーリング工標準図

横ボーリング工断面図 S=1:30(1:60)
上 段



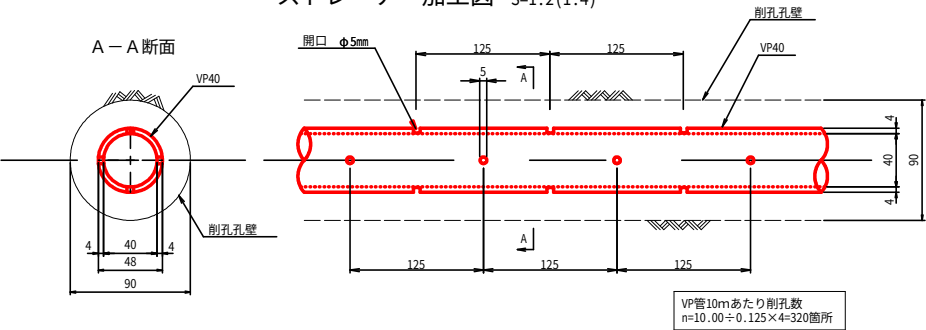
横ボーリング(法面直交配置, L=12.5m) 10本当たり材料表			
名 称	規 格	算 定 式	数 量
排水管	VP40	12.50×10 先端加工	125.00m
ストレーナー加工	φ5, 125mm間隔	12.50×10	125.00m
削孔長	φ90	12.50×10	125.00m
VP管	VP75無孔管	(2.00+7.30)×10	93.00m
45°エルボ	VP75 TS継手		10個

下 段



横ボーリング(法面直交配置, L=11.5m) 10本当たり材料表			
名 称	規 格	算 定 式	数 量
排水管	VP40	11.50×10 先端加工	115.00m
ストレーナー加工	φ5, 125mm間隔	11.50×10	115.00m
削孔長	φ90	11.50×10	115.00m
VP管	VP75無孔管	(2.00+1.20)×10	32.00m
45°エルボ	VP75 TS継手		10個

ストレーナー加工図 S=1:2(1:4)



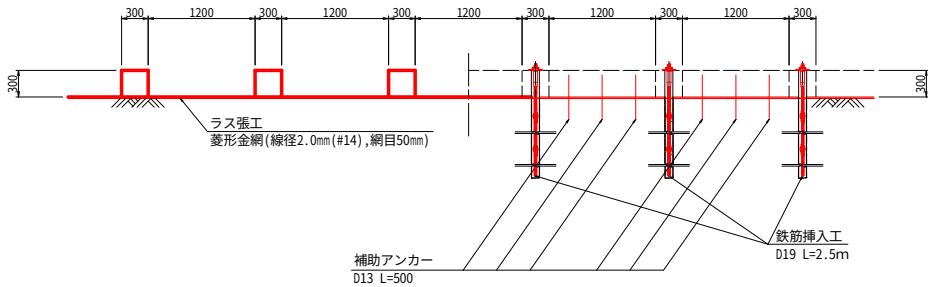
VP管10mあたり削孔数
n=10.00÷0.125×4=320箇所

※孔口継手ベント管は地形状況(法種高状況)に応じて、適宜変更、追加すること。
※施工時に顕著な湧水(湧水痕)、水ミチが確認された場合には監督員と協議のうえ、横ボーリングの追加・配置変更を行うこと。

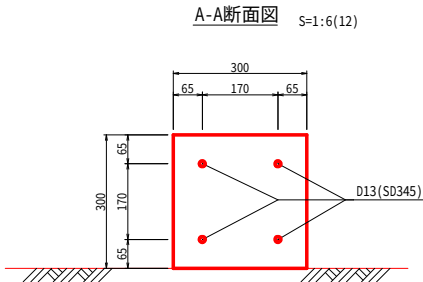
工事名	令和8年災害定第3号 市道野田沢本線(岡部町段) 道路災害復旧工事		
工事箇所	藤枝市岡部町段地内		
図面の種類	排水工標準構造図		
縮尺	図示 ()内はA3縮小	図面番号	10 葉中 7
測量年月日	R . . .	設計年月日	R8.9
藤枝市基盤整備局道路課			

吹付枠工構造図 (300×300－1500×1500)

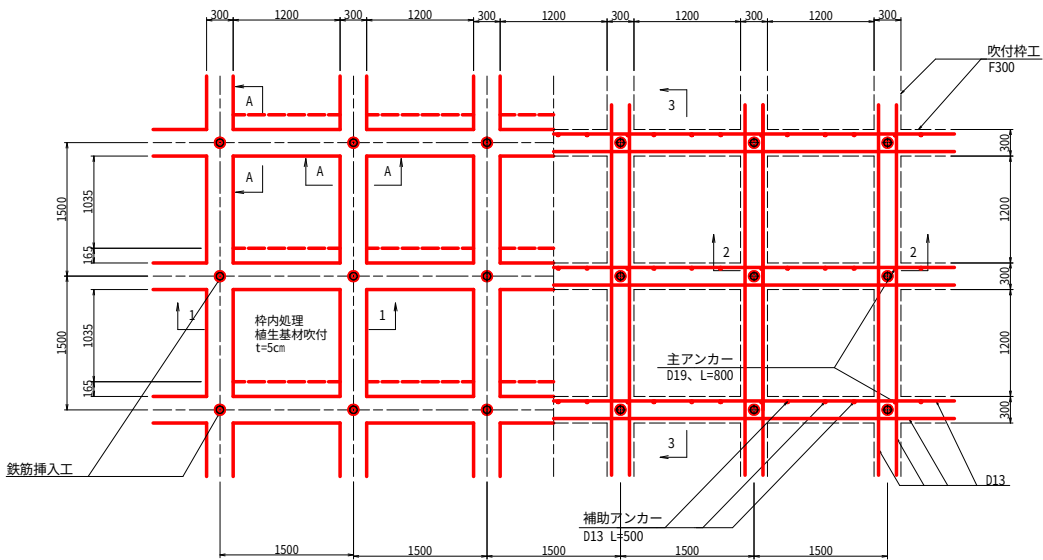
1-1断面図 S=1:30(60)



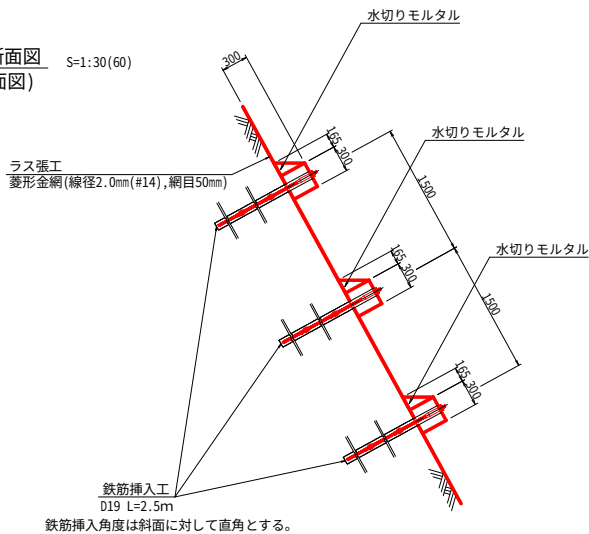
2-2断面図 S=1:30(60)



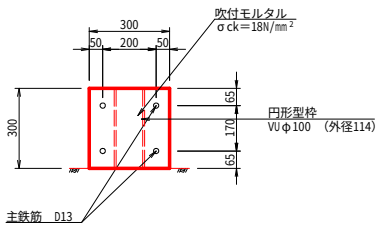
展開図 S=1:30(60)



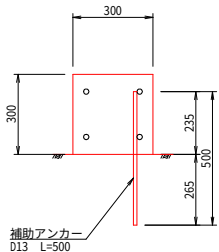
標準横断面図 (3-3断面図) S=1:30(60)



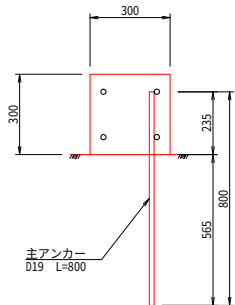
吹付枠断面図 S=1:10(1:20)



補助アンカー 1:10(1:20)



主アンカー 1:10(1:20)



設計条件

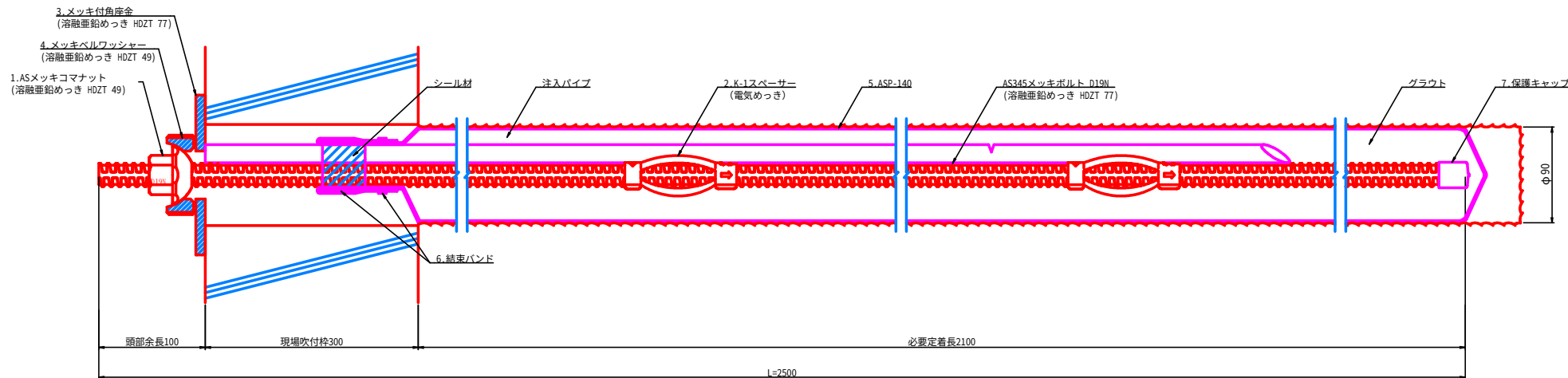
	設計基準強度	水セメント比
吹付枠工	18N/mm ²	60%以下

※吹付枠工の出典：のり枠工の設計・施工指針(平成25年10月)P57,P61

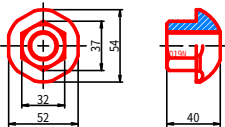
工事名	令和8年災害定第3号 市道野田沢本線(岡部町殿) 道路災害復旧工事		
工事箇所	藤枝市岡部町殿地内		
図面の種類	吹付枠工構造図		
縮尺	図示 (1)内はA3縮小	図面番号	10 葉中 8
測量年月日	R	設計年月日	R8.9
藤枝市市盤整備局道路課			

鉄筋挿入工構造図 S=free

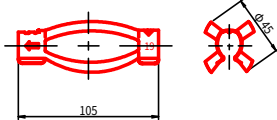
(異形棒鋼,SD345,D19)L=2.5m



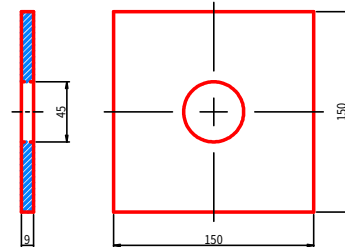
1. ASメッキコマナット D19N
(溶融亜鉛めっき HDZT 49)



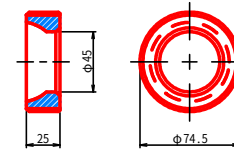
2. K-1スパーサー D19-45
(電気めっき)



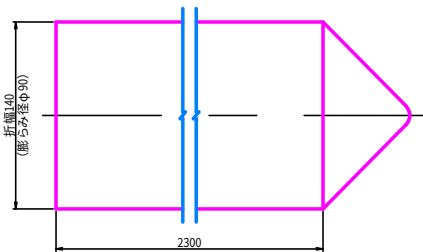
3. メッキ付角座金
(溶融亜鉛めっき HDZT 77)



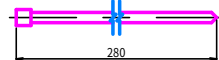
4. メッキペルワッシャー
(溶融亜鉛めっき HDZT 49)



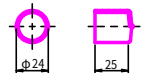
5. ASP-140



6. 結束バンド



7. 保護キャップ D19



数量表

(1箇所当り)

種 別	仕 様	単位	数量	備 考
AS345メッキボルト	D19N	m	2.5	溶融亜鉛めっき HDZT 77
ASメッキコマナット	D19N	個	1	溶融亜鉛めっき HDZT 49
K-1スパーサー	D19-45	個	2	電気めっき 最大ピッチ2.5mで最低2箇所
メッキ付角座金	150×150×9 (φ45)	枚	1	溶融亜鉛めっき HDZT 77
メッキペルワッシャー	φ74.5×25	個	1	溶融亜鉛めっき HDZT 49
グラウト		m ³	0.033	
ASP-140	削孔径φ90用	m	2.3	必要定着長+0.2m
結束バンド	L=280	個	2	
保護キャップ	D19用	個	1	
シール材		m	0.25	
幅広ビニールテープ		巻	0.05	
紙テープ		巻	0.02	

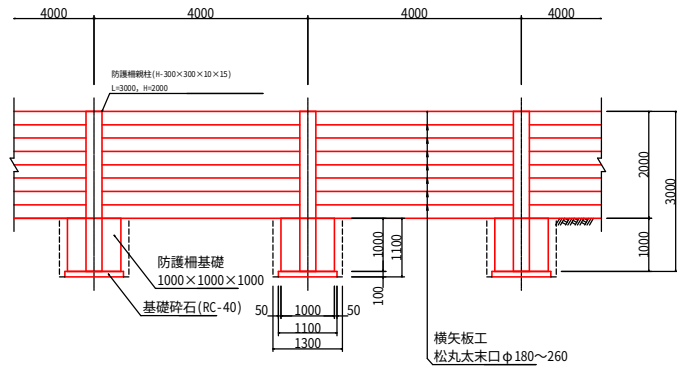
グラウト V=(2.5-0.4)×0.09×0.09×π/4×2.5=0.033m³

※グラウト注入パイプ(φ21.5)2.2m程度/ヶ所
1本当たり2ヶ所程度まで使用
2.2m×106本/2ヶ所=116.6m

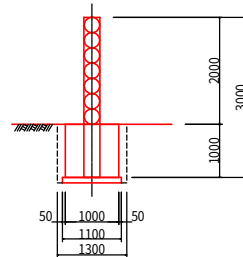
工事名	令和8年災害査定第3号 市道野田沢本線(岡部町段) 道路災害復旧工事		
工事箇所	藤枝市岡部町殿地内		
図面の種類	鉄筋挿入工構造図		
縮尺	図示 (1)内はA3縮小	図面番号	10 葉中 9
測量年月日	R . . .	設計年月日	R8.9
藤枝市基盤整備局道路課			

仮設防護柵工構造図

正 面 图 S=1:50(1:100)

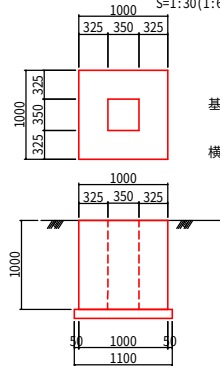


断面图 S=1:50(1:100)



假設防護柵基礎工

S=1:30(1:60)



基礎取り壊し数量
 $V = (1.00 \times 1.00 - 0.35 \times 0.35) \times 1.00 \times 7 \text{ 基}$
 $= 6.143 \text{ m}^3$

横矢板リサイクル処理
 $V = 0.1296 \text{ m}^3 / \text{本} \times 24.0 \text{ m} \div 100.0 \text{ m} \times 275 \text{ 本}$
 $= 8.554 \text{ m}^3$

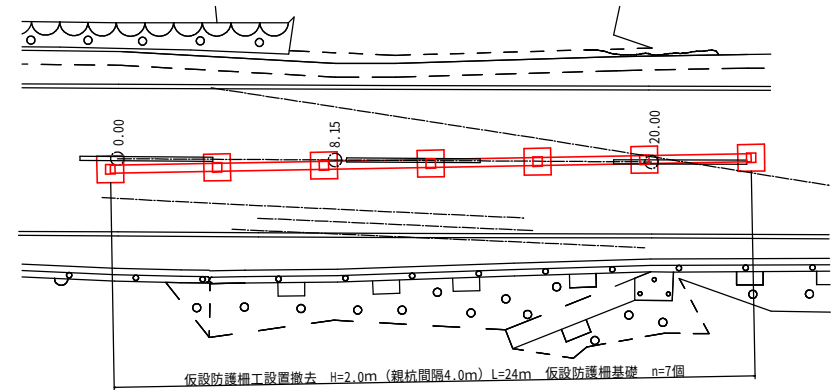
仮設防護柵 設置(親柱間隔 4m)		100m当り材料表	
名 称	規 格	算 定 式	数 量
仮設防護柵親柱	300×300×10×15 (93.0kg/m)	$100.00 \div 4.00 + 1$ $(93.0 \times 3) \times 11$	26 本 (7.3 丁)
横木板	松大目板 φ180×20	$2.00 \div 0.18 = 11$ 本 $11 \times 100.00 \div 4.00$	275 本
基礎	1000×1000×1000	$100.00 \div 4.00 + 1$	26 基

仮設の運搬基礎		10箇所当り材料表	
コンクリート	規格	算 定 式	数 量
名称	普通コンクリート 強度 28.8 N/mm ² 厚さ 40mm以下	$(1.00 \times 1.00 - 0.35 \times 0.35) \times 1.00 \times 10$	8.78m ³
型枠	小型	$(1.00 + 0.35) \times 1.00 \times 4 \times 10$	54.00m ²
基礎碎石	砕 40 t=10cm	$1.10 \times 1.10 \times 10$	12.10m ³
間詰め砂		$0.35 \times 0.35 \times 1.00 \times 10$	1.23m ³
As切断		$1.30 \times 4 \times 10$	52.0m
As壊し		$1.30 \times 1.30 \times 10$	16.9m ²
基面整正		$1.10 \times 1.10 \times 10$	12.1m ²
床掘り		$1.30 \times 1.30 \times 1.10 \times 10$	18.6m ³
埋戻し	流用土	$18.6 - (1.00 \times 1.00 \times 1.00 + 1.10 \times 1.10 \times 0.10) \times 10$	7.4m ³
残土処分		18.6 - 7.4	11.2m ³
As仮運搬処分		$1.30 \times 1.30 \times 0.05 \times 10$	0.845m ³

仮設防護欄		撤去（親柱間隔 4m）		100m当り材料表	
名 称	規 格	算 定 式		数 量	
仮設防護欄柱	300×300×10×15 (S10kg/m)	$100.00 \div 4.00 \times 1$ $(93.0 \times 3) \times 26$		76.3 t	
横矢板	φ100×10 φ180~260	$2.00 \times 0.18 \div 11 \times 11 \times 100.00 \div 4.00$		275 t	
埋戻し		$(1.30 \times 1.30 \times 0.85) \times 26$		37.35 m3	
埋戻し材	流用土	32.96×1.30		43.84 m3	

基礎部 舗装復旧		10箇所当り材料表	
名 称	規 格	算 定 式	数 量
下層路盤	t=100mm 再生上層路盤材	$(1.30 \times 1.30) \times 10$	16.9 m ²
上層路盤	t=100mm 粒度調整碎石	$(1.30 \times 1.30) \times 10$	16.9 m ²
表層	t=50mm 黒色セメントコンクリート(13)	$(1.30 \times 1.30) \times 10$	16.9 m ²

防護柵基礎配置図 S=1:250(1:500)

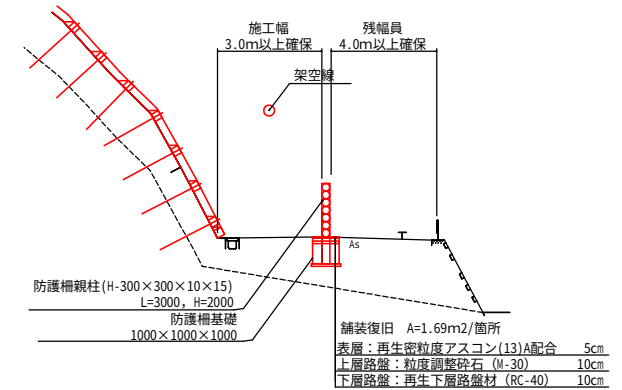


上図は施工幅を3m、現道残幅員を4m確保可能な配置としている。
仮設防護柵の線形、基礎の位置は施工の進捗状況や使用する建機の配置により適宜変更すること。

—・—・—・—は架空線を示す。着工前に移設すること。

□ 假設防護柵基礎

標準横断面図 S=1:50(1:100)



工事名	令和 8 年災害定第 3 号 市道野田沢本線（岡部町段） 道路災害復旧工事		
工事箇所	萩枝市岡部町段地内		
図面の種類	仮設防護柵構造図		
縮尺	図 示 () 内は A3 縮小	図面番号	10 葉中 10
測量年月日	R . . .	設計年月日	R8.9
萩枝市基盤整備局道路課			